



公益財団法人SAJ  
**SAJ Farm 通信**  
vol.33  
2013年 4月号

公益財団法人  
**School Aid Japan**  
〒144-0043  
東京都大田区羽田 1-1-3  
TEL: 03-5737-2773  
FAX: 03-5737-2793  
<http://www.schoolaidjapan.or.jp>  
sajinfo@schoolaidjapan.or.jp

# 新年度開始

4月になり新年度がスタートしました。ここカンボジアは日本と違いお正月を4月に迎えます。

2つの形で新しい年を迎え、気持ちを改めて頑張りたいと思っています。

## 1. 2013年度計画の見直し。

ワタミ手づくりマーチャングダイジング(株)(以下、MD)の門司社長と(有)ワタミファームの磯野社長がSAJ Farmに来てくれました。昨年度末に渡邊代表理事にご指導頂いた後、本格稼働に向けて練り直した計画が実態に沿ったものであるか実際に現場を見て確認するためです。

今までも何度も来て、さまざまな意見をくださったのですが、今年度より、より精度を高めた指導をしていただくことになりました。3日間の日程で、コーヒー粕をいただいたウエダコーヒー様や農場内の見学等をして、今後の方針が決まりました。

## ① レモングラスについて

10月以降の出荷を1t近くまで増産するためにレモングラスの圃場面積を現状の1.5haから6haに拡大します。また、乾燥が難しい雨季の間でもレモングラスを出荷できるようにするためビニールでできたトンネルで乾燥試験を行います。現状の作付け方法が最適なのか試験するためレモングラスを植え付ける間隔を変えた実験圃場を用意し、比較したうえで来年度以降最適な作付けを実施します。レモングラスを裁断するための裁断機をMDの工務の方にお問い合わせしてつくってもらい、生産性を上げます。実際に使ってみて、改良していくことにします。

## ② 稲作について

植え付ける水田の面積を減らす代わりに、よりしっかりと管理し、カンボジアの平均収量よりも多く収穫できる水田作りを目標とします。

## ③ 肥料について

プノンペンウエダコーヒー様からコーヒー粕をいただいて有機肥料をつくることにしました。カンボジアで飲まれているコーヒーは日本のインスタントコーヒーなどに使用されているロブスター種というコーヒーで、単体では苦みが強く味もしないため大豆やバター、砂糖などが一緒に入っているという話を聞かせていただきました。



カンボジアで手にはいる竹とビニールでつくったトンネル。

た。含有物を考えても良い肥料になると思われます。

#### ④ 鶏について

2013 年度末までに 200 羽に増羽するという計画を挙げましたが、実際に昨年度 1 年間飼育しても、雛が孵化しているにもかかわらず、10 羽前後を推移していたことを踏まえ、10 月までに鶏 20 羽を目標に決めました。もし、達成できなければ、飼育を止め、他の方法を検討することになります。犬に襲われたり、泥棒に入られたりと今までの失敗の一番の要因だった鶏小屋が離れた場所にあることを改善するため、今まで物置に使っていた宿舎の隣の小屋を鶏小屋へ改造しそこへ鶏を移すことにしました。また孵化した雛が親による圧死等で死亡してしまうのを防ぐため、私たちの住居にある程度の大きさになるまで隔離し飼育することになりました。

#### ⑤ 雇用について

レモンガラスの生産の増加を考えると、早急に人員の増員が必要なため募集をかけることになりました。

## 2. 現地で日本人が経営されている農場を視察しました。

門司社長、磯野社長のカンボジア訪問に合わせ、何か今後の農場運営の参考になればと現地の農場を視察することになりました。現地の方と日本人と一緒に農場で働いている(株)ジャパンファームプロダクツ様に視察を受け入れて頂き、農場へ案内して頂きました。農場では主に日本の品種のオクラを栽培していて、プノンペンのレストランや、大きなスーパーマーケットなどに販売しているそうです。その他にも試験的にキュウリやアスパラガス、柿などが植えられていました。ただ、肥料には鶏糞を主に使用しているようですが、トラックをチャーターして肥料を運ばないといけないため肥料代が非常に高いそうです。どこも安定した安価な肥料の入手には苦労しているようです。また、日本から農家の方を招いてカンボジアの農家の方に技術指導をしてもらい、その代わりにそこで出来た野菜の売上の一部を指導した方へ還元する事業や、中国での生産が不安定になってきているカンピョウの栽培をカンボジアの農家の方にお願ひしたり、日本から高級フルーツなどを輸入しているそうです。カンボジアの方たちと一緒に土にまみれている日本人スタッフの姿を見ると自分たちも負けていけないと励みになりました。ジャパンファームプロダクツ様からは、後日、SAJ Farm を視察したいという話をいただきましたので、実際に見ていただき、ご意見を賜ればと思っています。

### 編集後記

今月はカンボジアのお正月です。何故、四月がお正月かカンボジア人のスタッフに聞いたところ、3 月までに稲刈りが終わるため、そこを区切りにしていて、お米を売ったお金でお祝いをし、次の仕事に備えるのだそうです。日本と同じように古くからの習慣を大事にしているのを感じました。

上井